

関東地方の指導にあたって ～交通・通信の視点を中核とした考察

●『学習指導要領解説』の抜粋

日本の諸地域について、幾つかに区分し、その地域的特色や地域の課題を理解する。次の①から⑤までの考察の仕方を基に、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、知識及び思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう指導する。

①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方。

④交通や通信を中核とした考察の仕方

交通や通信を中核とした考察の仕方については、地域の道路や鉄道、航路や航空路、通信網などの交通・通信に関する特色ある事象を中核として、それをその地域にみられる産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連付け、交通・通信が地域の産業や人口や都市・村落などと深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題となることなどについて考察することが考えられる。

●指導上の留意点

7 地方区分別でみると、関東地方の面積は全国の約 9 % に過ぎない地域であるが、人口ではおよそ 3 分の 1 にあたる 4000 万人もの人口が集中している。首都東京を擁する関東地方がもつ影響力は他の地方に比べて大きく、政治や経済・文化の中心としてその役割を果たしている。

東京は、世界有数の国際都市であると同時に超過密都市でもある。東京への「一極集中」が生み出す弊害として、東京と他の地方との格差がさまざまな面で拡大している。また、東京大都市圏の中でも、地価の高騰や通勤ラッシュ、無秩序な都市開発など問題点をあげれば枚挙にいとまがない。そのような多様な地域のとらえ方を意識しつつ授業を展開することが大切である。また、本教材においては関東地方に関して「交通・通信」の視点を中核としているが、国内のみならず、世界とのつながりについても留意する必要がある。関東地方を舞台にどのように世界とつなげていくかという点で、教員の授業づくりの工夫が求められているといえよう。

●ワークシートの単元構成 <想定する時間数:全体で5時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	関東地方をながめて	関東地方の位置と広がり 地形の特色、異なる気候	構成する都県名、主な自然環境	p.80
2	日本の首都 東京	首都としての機能 人口の増加	司法・立法・行政の三権の機関 一極集中と再開発、機能の移転	p.81
3	東京大都市圏と交通網	郊外の開発とニュータウン 昼夜間人口の動き	東京大都市圏の人口分布と交通網 過密による都市問題	p.82
4	関東地方の交通網の発達と産業	国際都市化する東京 工業の特徴	外国人の増加と国際化 世界経済の拠点	p.83
5	関東地方のまとめ	関東地方の地域的特色と課題	白地図上に主な地名や語句を整理する	p.84

関東地方 ①

関東地方を ながめて

●学習のねらい●

地図帳を使って、関東地方の都県や地形を確認し、関東地方の自然環境について理解しよう。

関東地方は、東京都と群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・神奈川県
の1都6県から構成されていますが、東京との結び付きが強い山梨県を加えて首都圏とよぶこともあります。天気予報などでは「関東甲信越」という表現がみられますが、これは関東地方に加えて山梨県、長野県、新潟県を含めた地域区分です。東京の発展とともに周辺の地域でも宅地開発が進み、東京の通勤圏は広い範囲に及んでいます。また、東京湾岸では埋め立てによる開発が進み、工場用地としてだけでなく、みなとみらい21地区（神奈川県）や臨海副都心（東京都）、幕張新都心（千葉県）への企業の移転もみられます。

関東地方は、利根川とその支流が形成

した日本最大の面積をもつ関東平野を中心にした地域ですが、周囲を関東山地や越後山脈に囲まれています。台地の占める割合が比較的高く、火山灰が積もってできた関東ロームで広くおおわれています。また、火山からなる島々が連なる伊豆諸島や小笠原諸島が太平洋に分布し、日本最南端の沖ノ島も東京都に含まれます。

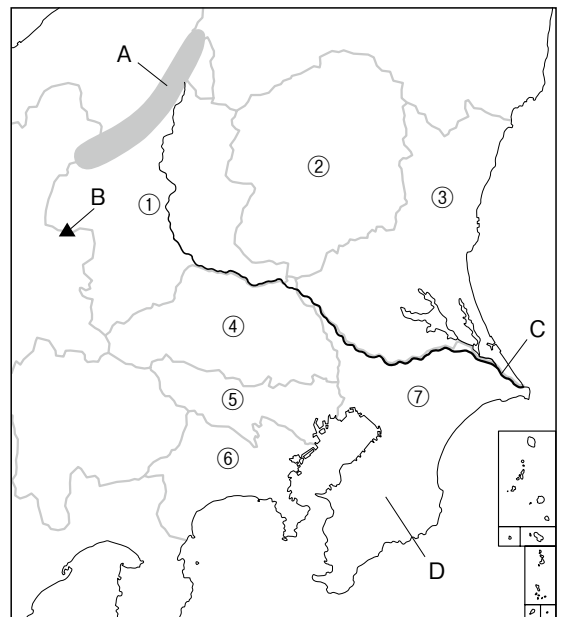
関東地方の気候は、一般に夏は気温が高く蒸し暑い日が続く一方、冬の寒さは地域によって異なり、内陸部ではより気温が低くなります。冬には乾燥した北西の季節風が吹き、山沿いの地方では「からっ風」とよばれ、このような風を防ぐために防風林が造られている場所もみられます。

課題 1 右の地図中の①～⑦の都県名・県庁所在地名を記入しよう。

①	県	市	②	県	市
③	県	市	④	県	市
⑤		都	⑥	県	市
⑦	県	市			

課題 2 右の地図中のA山脈、B山、C川、D半島の地名を地図帳で調べてみよう。

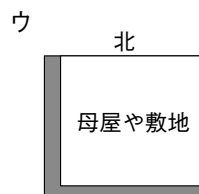
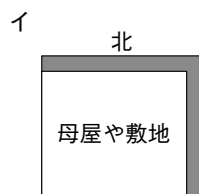
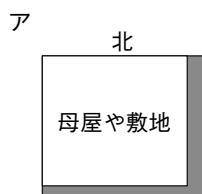
A	山脈	B	山
C	川	D	半島



課題 3 右のスケッチは、群馬県前橋市の郊外でみられる、母屋や敷地の周りに植えられた防風林を描いたものです。また、次の文章は、この地域の季節風と防風林について書かれたものです。スケッチと文章から、防風林が植えられている位置について、太い実線で示した図の中で正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号を答えよう。（ ）



この地域では冬の季節風が、日本海側に雪を降らせた後に乾燥した風となって強く吹きつけることが多く、「からっ風」とよばれています。それを防ぐために、母屋や敷地のまわりに防風林を植えている家もみられます。



日本の首都 東京

●学習のねらい●

政治や経済・文化の中心
となっている首都東京の現
状について理解を深めよう。

東京は日本の政治の中心です。都心部には、政治の舞台として広く知られる千代田区永田町の国会議事堂や霞が関の中央官庁など、国を代表する数多くの機関が建ち並んでいます。また、大企業の本社や銀行の本店なども多くあり、日本の経済の中心でもあります。さらに、多くの大学や研究機関、博物館、劇場などの文化施設や放送局、出版社などがみられ、日本の文化の中心にもなっています。

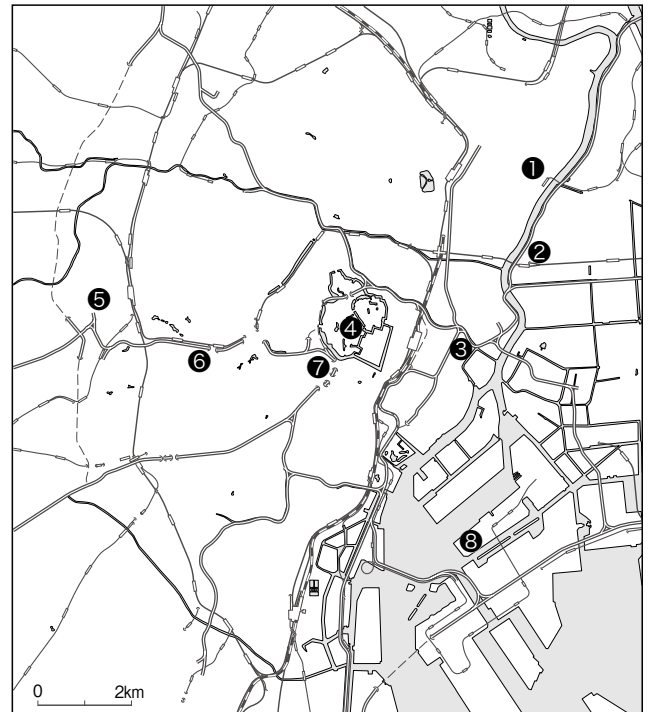
このように東京は、さまざまな点で日本の中心となっているため、鉄道、道路、航空路など交通網も、東京を中心として発達しています。

一方で、都心に集中する企業のオフィスなどを分散させるため、新宿、渋谷、池袋などで副都心の整備が進められました。特に1970年代以降、浄水場の跡地を中心に超高層ビルが建ち並ぶようになった新宿には、1991年に東京都庁が移転し、新都心としての整備が進みました。また、丸の内や六本木、東京湾の沿岸では、再開発や高層マンションの建設が進められたことにより、東京23区の人口は増加する傾向がみられます。2020年には都内の人口が1,400万人を超え、10年間でおよそ100万人増加したことになります。

課題 1 次のA～Hの所在地を、右の地図から選んで、番号を記入しよう。

- A 国会議事堂 B 中央卸売市場 C 東京都庁
D 浅草寺 E 皇居 F 国技館 G 国立競技場
H 東京証券取引所

A	B
C	D
E	F
G	H



課題 2 上の地図に見られるように、東京湾の海岸線が直線状になっている理由を考え、まとめよう。

課題 3 東京23区内の人口が近年増加傾向にある理由を考え、まとめよう。

東京大都市圏と交通網

●学習のねらい●

ニュータウンの開発などによる都市圏の拡大により、東京周辺の地域ではどのような問題が起きているのか、考えよう。

東京へ人口が集中するのにもない東京の中心部の地価が高くなると、人々は地価の安い郊外に居住地を求めるようになりました。東京とその郊外を結ぶ鉄道が発達し、鉄道沿線に宅地化が進み、台地や丘陵地にニュータウンの建設が進みました。現在、東京に通勤する人の居住地は都心から半径約70kmの範囲まで広がり、通勤・通学で結びつくこの範囲を東京大都市圏とよんでいます。五つの政令指定都市が分布する東京大都市圏には、中心都市の機能の一部を担う衛星都市が連なり、日本有数の人口集中地域となっています。東京大都市圏では、通勤・

通学時間が長く、混雑もひどく、中心部での道路の渋滞も激しくなり、人口過密が問題となってきました。これに対し、中心部を通らずに郊外の都市どうしを結ぶ環状の交通網の整備や時差通勤などの対策も進められてきました。近年、長時間の通勤・通学を避けて東京の中心部の高層マンションなどに引っ越す人々も増えています。一方で、以前に開発されたニュータウンでは、住宅の老朽化や、住民の高齢化・少子化が問題となっています。都市の機能の一部を周辺に分散させる新都心の建設も進んでいますが、問題は解決していません。

課題 1 次の①～④に当てはまる言葉をそれぞれ記入しよう。

- ① 東京の都心から半径70km圏内にある地域で、東京への通勤・通学者が多く暮らしている地域。 ()
- ② 大都市の周辺にあって、中心都市の住宅や工業の機能の一部を分担している都市。 ()
- ③ 都市の中心部の人口が減少し、郊外などの周辺の人口が増加する現象。 ()
- ④ 東京都西部の丘陵地に開発され、1971年から入居がはじまったニュータウン。 ()

課題 2 右の表は、関東一帯の人口増加率を示したものです。全国・都心3区・近隣3県・周辺4県について、変化を読み取り、その理由についてまとめよう。

全国…
都心3区…
近隣3県…
周辺4県…

【首都圏および郊外住宅地の人口増加率】

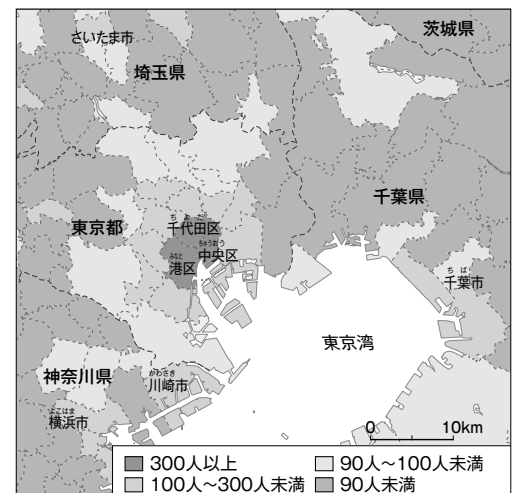
年次 (%)	1995-2000	2000-2005	2005-2010	2010-2015
全国	1.1	0.7	0.2	-0.8
首都圏*	2.3	2.6	2.6	0.8
東京都	2.5	4.2	4.6	2.7
東京都区部	2.1	4.4	5.4	3.7
都心3区 (千代田・中央・港)	10.0	21.7	15.0	18.1
近隣3県**	2.6	2.6	2.5	0.7
周辺4県***	1.0	-0.04	-0.7	-1.9

*東京都・埼玉県・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県、**千葉県・埼玉県・神奈川県、***茨城県・栃木県・群馬県・山梨県

(「令和3年度版 首都圏白書」より)

課題 3 右の図は東京周辺の昼間人口と夜間人口を示しています。この図から読みとれることを書いてみよう。

【夜間人口100人に対する昼間人口】



(2015年 国勢調査より)

関東地方 ④

関東地方の交通網の発達と産業

●学習のねらい●

交通の発達により世界・日本の各地との結び付きを強めている東京の様子について、理解を深めよう。

「空の玄関^{げんかん}」として利用されてきた東京国際（羽田）空港は、1978年に新東京（成田）国際空港が開港すると、国際線の発着は成田が中心となり、日本最大の輸出・輸入額を誇る貿易港となりました。近年は、都心に近い羽田も国際線の発着が増え、ハブ空港としての機能を高めています。東京湾に位置する横浜港は、代表的な貿易港として発展を続けてきました。現在でも自動車の輸出を中心とした貨物輸送の拠点となっています。

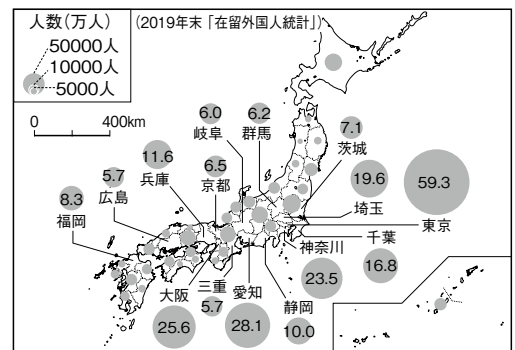
東京湾岸から千葉県^{ちゅうきょうけん}の臨海部の埋め立て地には、鉄鋼、造船、石油化学などの工場が建設され、京浜工業地帯、京葉工業地域が形成されています。一方で、関東地方の内陸部^{うちりくぶ}に関越自動車道や東北自動車道などが整備されると、トラックなどの輸送条件の改善、工業用地を確保し

やすい地価の安さもあり、自動車や電気機械、食品などを中心とした北関東工業地域が形成されました。製品出荷に便利なインターチェンジ周辺には自治体の支援もあり、工業団地がみられます。

こうした高速道路網の整備は、以前から発達していた、大消費地・東京に新鮮な野菜などを供給する近郊農業をいっそう盛んにしました。輸送時間や費用を抑えることができる強みを生かして、野菜、果実、牛乳、食肉などが一年を通じて生産されています。

また、関東地方には全国に居住する外国人の半数近くが住み、そのうち東京都には55万人もの外国人が生活しています（2021年1月1日現在）。労働者として来日した人々や、その家族も多く、エスニックタウンも形成されています。

課題 1 右の地図は都道府県別の外国人登録者数を示しています。この地図から読み取れることをまとめよう。



課題 2 右の表は、関東地方の都県の農業部門のシェアを示したものです。この表から読み取れる関東地方の都県の農業の特色をまとめよう。

都県名	農業産出額(億円)	全国順位	農業産出額部門別のシェア(%)			
			第1位	第2位	第3位	
全国	89,387		畜産 36.2	野菜 24.1	米 19.6	
茨城県	4,302	3	野菜 36.6	畜産 28.9	米 18.8	
千葉県	3,859	4	野菜 33.8	畜産 32.3	米 17.9	
栃木県	2,859	9	畜産 40.6	野菜 27.4	米 23.5	
群馬県	2,361	14	畜産 44.8	野菜 38.6	米 6.6	
埼玉県	1,678	20	野菜 47.4	米 21.1	畜産 14.8	
神奈川県	655	38	野菜 50.8	畜産 22.6	果実 10.8	
東京都	234	47	野菜 51.7	花き 18.4	果実 15.0	

(2019年「令和3年度版 首都圏白書」より)

課題 3 右の表は京浜、中京、阪神の三つの工業地帯について、それぞれの工業地帯の工業生産額の変化と、2018年の工業生産額の内訳をまとめたものです。京浜工業地帯にあたるものをア～ウ、a～cの中から選び、それぞれ記号で答えよう。

【工業生産額の変化】

	1980年(全国比)	2000年(全国比)	2018年(全国比)
ア	37.6兆円(17.5%)	40.3兆円(13.3%)	26.4兆円(7.9%)
イ	30.3兆円(14.1%)	32.6兆円(10.7%)	34.5兆円(10.3%)
ウ	25.1兆円(11.7%)	42.7兆円(14.1%)	60.2兆円(18.0%)

【2018年の工業生産額の内訳】

	金属	機械	化学	食料品	その他	合計
a	9.6%	69.1%	6.4%	4.6%	10.3%	100.0%
b	8.9%	49.3%	18.0%	10.9%	12.9%	100.0%
c	20.9%	37.7%	16.8%	10.9%	13.7%	100.0%

京浜工業地帯の数値は、東京都・神奈川県の合計で算出。(『日本国勢図会2020/21年版』ほかより)

関東地方 ⑤

関東地方の まとめ

●学習のねらい●

これまでの学習をふりか
えり、関東地方の特徴を
地図で確認しながら、関東
地方の全体像をつかもう。

関東地方について、交通・通信の視点
から学習を進めてきました。まとめとし
て関東地方の特色をみていきましょう。

東京は日本の首都であり、国の政治や
行政、経済や文化などの面で日本の中心
となっています。同時に、全国の交通網
の中心であり、鉄道交通、航空交通によ
って日本各地と結ばれています。東京の
都心から70 km圏内は東京大都市圏とよ
ばれ、宅地化が進んだ結果、通勤・通学
や買い物などを通じて東京と結びつきが
強く、日本の4分の1を占める人口が集
まる地域です。東京大都市圏が拡大する
につれて、通勤・通学時間は長くなり、
交通混雑も激しくなったため、過密の問
題が深刻化しています。

関東地方は、交通網の発達によって産

業も進展してきました。工業では、横
浜・東京・千葉の臨海部を中心に京浜工
業地帯・京葉工業地帯が発展し、日本最
大の貿易港である成田国際空港、日本の
海上輸送の中心である東京港・横浜港と
合わせ、貿易の拠点にもなっています。
内陸部には、高速道路網の充実にともな
って、インターチェンジ付近などを中心
に工業団地が建設され、北関東工業地域
が広がっています。高速道路網は、大消
費地に農産物を早く安く運ぶことができ
るという強みから、東京周辺では野菜、
果実、畜産などの近郊農業も盛んです。

また、日本に暮らす外国人の半数近く
が関東地方に住み、東京には外国人向け
の店が多く、エスニックタウンも形成さ
れています。

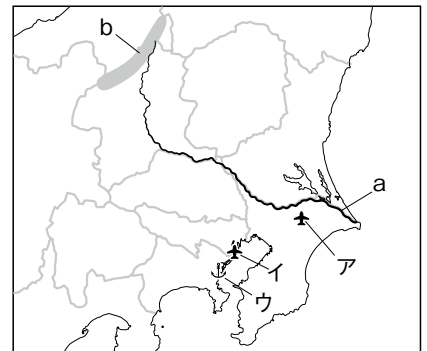
課題 1 右の地図を見ながら、以下の作業をしてみよう。

① 地図中のa川、b山脈の名称を答えよう。

a	川	b	山脈
---	---	---	----

② 地図中のア～ウの空港、港湾の名称を答えよう。

ア	イ	ウ
---	---	---



課題 2 今まで学習してきたキーワードについて、ワークシートで確認しな
がら答えよう。

- ① 関東地方の台地に広がる、火山灰が降り積もってできた赤土の層。
- ② 「赤城おろし」「秩父おろし」など関東地方で冬によくみられる北西の風。
- ③ 東京都内の渋谷、池袋など都心について中心となっている地域。
- ④ 東京の都心を中心に半径約70km圏内にある地域。
- ⑤ 多摩、千葉、港北など大都市の周辺に造成された大規模な住宅地。
- ⑥ 大消費地周辺で都市住民に新鮮な農産物を供給する農業。
- ⑦ 大都市の周辺にあって、中心都市の住宅や工業などの機能の一部を担う都市。
- ⑧ 東京・川崎・横浜など東京湾の西岸の一帯を中心とする工業地帯。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

課題 3 関東地方がかかえている問題点としてどんなことがあげられますか。また、その問題点に対する解決策としてあなたが考えたことを書き出そう。

